

2026年度 学校評価 南山高等学校・南山中学校（男子部）

校長 赤尾 道夫

<p>目指す学校像・育てたい生徒像</p> <p>目指す学校像 南山学園の教育モットーである「人間の尊厳のために」を教育活動の中で具現化できるよう、「高い人格・広い教養・強い責任感」の校訓を掲げ、6ヵ年一貫の男子教育を通して、確かな学力を身につけ、キリスト教精神に基づく人間の尊厳の深い理解と愛の実践を会得したすぐれた生徒の育成を通して社会に貢献することを旨とする学校</p> <p>育てたい生徒像</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人を思いやり、互いに協力し合える人類愛を実践する資質を持つ生徒 ・人間の尊厳が尊重された社会を作っていくために何が必要なのかを考え、会得していく知性を持つ生徒 ・自らの行動が正しい価値観に基づくものなのか自己の良心に問いかけ、その行動に責任を持つ生徒

<p>学校評価の公表方法</p> <p>1. 重点目標・具体的取組・評価項目・評価指標の共有・周知：</p> <ul style="list-style-type: none"> ①教職員：職員会議(2026年4月予定) ②生徒・保護者等：本校HP公表(2026年5月頃予定) ③学校関係者評価：育友会・常盤会・友の会役員に個別評価を依頼(2026年5月頃予定) <p>2. 学校評価（自己評価と学校関係者評価）結果の公表： 本校HP公表(2027年5月頃予定)</p>

現状・進捗度	A	十分に達成している。(80%以上)
	B	概ね達成している。(60%以上)
	C	あまり十分でない。(40%以上)
	D	不十分である。(40%未満)

自己評価（分析、計画、取組、評価）						
番号	計画・取組（2026年4月1日策定）			評価（2027年3月31日現在）		
	重点目標	現状	具体的取組	評価項目と評価指標	進捗度	進捗状況
1	選ばれる男子部であるための教育の深化	C	<p>「将来構想委員会」において、男子部の未来に向けた「ビジョン」をいったん創立95周年の2027年度に示せるように検討・準備をすすめる。</p> <p>自己点検委員会による点検活動と、各部・委員会等による点検活動のあり方や区分けについて検討する。その検討結果に基づいて自己点検活動を推進する。</p>	<p>「男子部の良さ」を再度構成員で認識し、教育活動に反映していく</p> <p>広く社会に共感・理解を得ながら「選ばれる男子部」となることを目指す</p> <p>教育モットーや校訓の再認識を行い、男子部の特色を再評価し、男子部の特色が教育モットーおよび校訓の実現に収れんされていくようカリキュラムや行事等の改善をめざす</p>		

<p>学校関係者評価（2027年1～2月実施） (2026年12月15日時点の自己評価を評価)</p>

2	さまざまな教育連携による「南山男子部だからできる教育」の実践	C	<p>南山大学との新たな連携事業の実施に向けて具体的な調整を行い、2026年度中に最低1件の取組を実施する。</p>	<p>南山大学との教育連携について、現在の連携をさらに改善・深化させ、学園内連携推進協議会や高大協議会を軸に、南山大学との新しい連携取組を充実させる</p>			
			<p>学園内中学校・高等学校との教育連携の可能性について、関係する学園所管会議体を軸に、他単位校と意見交換を行い、可能性を探る。</p>	<p>女子部を含めた学園内中学校・高等学校との教育連携について、学園小中高連絡協議会や学園内連携推進協議会等を軸に、教職員・生徒間での人的交流、正課・課外活動での連携を増加・充実を推進する</p>			
			<p>愛知県私学協会や中部地区カトリック学校連盟の組織を活かした、カトリック校間の教職員・事務職員交流の機会や、上智大学での新たなプログラム開発の可能性について、関係各校と相談・企画を行う</p>	<p>他のカトリック中学・高等学校や現在連携協定を結んでいる上智大学との連携を強化し、ミッションスクールの特色を活かした教育連携を検討・企画する</p>			
							<p>学校関係者評価委員会構成： 南山高等・中学校育友会役員、南山常盤会役員、南山中学高校友の会役員に学校関係者評価を個別に依頼・実施する。2027年度以降の委員会設置に向けて調整する。</p>